

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 29 年度第 1 回 第 3 分科会（都市生活基盤分野）
日時	平成 29 年 9 月 28 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 6 分
場所	江南市役所 2 階 大会議室（北）
出席者	市民委員 加納 勇、柴田 広美、宮地 義量、永井 義康、細川 幸弥
	市職員 野田 憲一、堀尾 道正、沢田 富美夫、梅本 孝哉、小林 悟司、高田 昌和
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり会議について 2. まちづくり評価について 3. まちづくり評価の結果について 4. その他（第 2 回の会議日程について）
資料	資料 1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成 29 年度） 資料 2 まちづくり評価について 資料 3 まちづくり評価【Ⅲ 都市生活基盤分野】 資料 4 平成 29 年度江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査（江南市市民満足度調査）報告書

◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

1. まちづくり会議について

- ・まちづくり会議について、行政経営課主幹より説明がありました。

2. まちづくり評価について

- ・まちづくり評価について、資料 2 及び 4 に基づき、行政経営課行政経営グループリーダーより説明がありました。

3. まちづくり評価の結果について

〔柱 1〕秩序と賑わいのある快適なまちづくり

- ・資料 3 に基づき、委員（まちづくり課長）より説明がありました。

〔個別目標②〕魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

- ・今年の 6 月から布袋駅上り線が鉄道高架化されたが、高架化の完成年度はいつになるのかとの質問があり、平成 31 年度末の布袋駅の高架化を目標に進めており、平成 29 年度の 9 月にも補正予算を追加計上し、事業の進捗に努めているとの説明がありました。
- ・布袋駅付近の基盤整備について、鉄道高架化に併せて、駅周辺の賑わいにつながるよう、駅東地区の整備など積極的に進めたいとの意見がありました。
- ・江南駅に隣接する店舗において大規模な工事が行われているが今後どのような計画があるのかとの質問があり、鉄道事業者が実施している工事のため、計画の詳細については把握していないが、看板等で工事の内容などを周知していただくよう市から要望しているとの説明がありました。

〔柱2〕人にやさしいみちづくり

・資料3に基づき、委員（土木課長）より説明がありました。

〔全体目標〕道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

・目標値に達していないが、道路整備に関する予算は足りているのかとの質問があり、目標値を達成するための予算が必ずしも確保されているわけではなく、地元からの要望に対しては、重要度や老朽化の状況を踏まえて順次対応しているとの説明がありました。

〔個別目標①〕道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

・市道のアダプト制度の登録者数は、平成26年度から毎年度10名弱程度しか増えていない状況であり、広報こうなんやホームページでPRしてだけでなく、性別や年齢などターゲットを絞って何らかの対策をしていくべきではないかとの意見があり、11月に開催が予定されている市民協働に関する会議の中で、各種市民団体の方々とアダプト制度のPR方法についても今後検討していきたいとの説明がありました。

〔柱3〕花と緑あふれる公園づくり

・資料3に基づき、委員（まちづくり課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

・市民一人当たりの都市公園面積は、人口が減少していくと一人当たりの面積は増えていくということか、また、遊休農地の増加が社会問題となっている中、公園用地として活用してはどうかとの質問があり、市における一人当たりの面積は、全国平均を下回っている状況であり、遊休農地については、調整区域に多く点在しているため、まずは、市街地での公園が不足している状況を踏まえ、市街化区域内に小規模な公園でも整備ができないか検討していきたいとの説明がありました。

〔柱4〕公共下水道の普及促進

・資料3に基づき、委員（下水道課長）より説明がありました。

〔全体目標〕下水道が整備され、快適な水環境のもとで生活している

・下水道普及率の算定方法について質問があり、市の人口に対する下水道整備区域内人口の割合であります。市内には合併処理浄化槽の整備区域もあるため、現時点での下水道普及率の最終目標値は、84%程度と見込んでいますとの説明がありました。

〔個別目標①〕下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

・下水道使用料の収納率が100%になることはあるのかとの質問があり、使用料の滞納者には、少なからず市税を滞納しており、この場合、地方税法により市税への充当が優先されるため、100%を達成することは厳しいが、今後も収納率の向上に努めていきますとの説明がありました。

〔個別目標②〕下水道が整備され、生活環境が向上している

・供用開始区域内の接続率の実績値が90.9%というのは高すぎるのではないかとの質問があり、この指標は、平成14年度から18年度までの下水道整備区域における接続率を示しています。一定の区域の目標値を設定しなければ、成果の測定は困難であるため、供用開始が早い区域は、経年接続率が向上していますとの説明がありました。

- ・江南市市民満足度調査報告書5ページのアンケート結果によると、江南市から市外へ移りたい、または移る予定の人の理由として、平成18年度、22年度、25年度は、道路・下水道などの都市基盤整備が遅れていることが1位で、最も大きな要因となっていたが、平成29年度の結果では、5位となり、下水道などの都市基盤整備を進めてきた成果が表れている。その一方で、買い物や娯楽を楽しめる環境でないことがその大きな要因となっており、高齢化が進む中で今後こうした分野に対して手を打つ必要があるとの意見がありました。

〔柱5〕 浸水被害のないまちづくり

- ・資料3に基づき、委員（土木課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

- ・準用河川般若川改修率は、平成26年度から92.0%のままであるが何もしていないのかとの質問があり、下流区域の状況をみながら、未改修の区間90mについては改修を見送っている状況であるとの説明がありました。
- ・今年発生した五条川の水害を踏まえ、市としては今後どのような対策を考えているのかとの質問があり、先日、近隣の3市2町で協議の場を設け、川の水位の状況が分かるようカメラを設置するなど、国や県に今後、要望していくことを検討しているとの説明がありました。
- ・雨水貯留浸透施設は具体的にどの程度効果があるのかとの質問があり、内径350mm 柵で1基2時間当たり2リットルのペットボトル245本分の効果があるとの説明がありました。
- ・ゲリラ豪雨で床下浸水の被害にあった家があるが、低い土地の所有者に雨水浸透柵などを積極的に設置してもらってはどうかとの質問があり、低い土地だけでなく、高い土地の所有者に雨水貯留浸透施設を設置していただくことで、より高い効果が得られると考えているとの説明がありました。
- ・北部中学校に雨水貯留施設が設置されたことにより、雨水の引きが早いなど、高い効果があったとの意見があり、今後も第3次江南市総合治水計画に基づき、市の財政状況を踏まえて計画的に設置を進めていきたいとの説明がありました。

〔柱6〕 安心・安全な住環境の確保

- ・資料3に基づき、委員（建築課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

- ・公共施設の耐震化の状況について質問があり、市が所有する公共施設の耐震化率については100%となるが、地元の集会所などについては、算定には含めていないとの説明がありました。

〔柱7〕 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給

- ・資料3に基づき、委員（水道課長）より説明がありました。
- ・質問はありませんでした。

4. その他（第2回の会議日程について）

- ・議事がすべて終了したため、第2回の会議は開催しない旨事務局より説明がありました。